

目次

●ニュース

名古屋大学レクチャー2008	3
「夢の新物質ナノカーボンの発見者大いに語る！」を開催	
平野総長、宮田理事が G8大学サミットに出席	4
大峯理事らが戦略的学術交流強化のためインドの主要研究機関等を訪問	5
山本理事がドイツ・ルール大学ボッフム校を訪問、学生派遣に関する合意文書の署名式に出席	6
平野総長が古田岐阜県知事等を訪問	7
宇宙航空研究開発機構と連携協力協定を締結	7
高エネルギー加速器研究機構と連携協力協定を締結	8
2008年度第1回名古屋大学起業家セミナーを開催	8
災害対策室が新潟県柏崎市長から感謝状を贈呈される	9
防災教育「地震に負けない！」を安城市立志貴小学校において実施	9
第40回、第41回防災アカデミーを開催	10
名古屋大学職場説明会を開催	10
舩名大が平野総長を表敬訪問	11
平成20年度名古屋大学掛長研修を実施	11

●知の先端

植物免疫 吉岡 博文（大学院生命農学研究科准教授）	12
---------------------------	----

●学生の元気

第62回名古屋大学・大阪大学対抗競技大会	14
第57回東海地区国立大学体育大会 一男子2位、女子4位一	15

●キャンパスクローズアップ

医系研究棟2号館	16
----------	----

●部局ニュース

第15回名古屋大学理学懇話会・高校生のためのサイエンスカフェを開催	18
平成20年度名古屋大学工学部懇話会を開催	18
理化学研究所と連携講座設置に関する協定を締結	19
三重県大紀町錦で津波に関する防災講演会及び津波避難に関するアンケート報告会を開催	19
農学国際教育協力研究センターが第3回オープンセミナーを開催	20
第84回特別講演会・からくり人形実演を開催	20
第12回附属図書館友の会トークサロン「ふみよむゆふべ」を開催	21
第31回附属図書館研究開発室オープンレクチャーを開催	21
地域貢献特別支援事業「都市近郊の農業教育公園」第1回講演会を開催	22
留学生向けの就職支援セミナー（第1回）を開催	22
附属図書館でヴァイオリンコンサートを開催	22

●環境への取り組み

緑化ワーキンググループの役割	23
----------------	----

●新任部局長の紹介

●本学関係の新聞記事掲載一覧 平成20年6月16日～7月15日	24
---------------------------------	----

●INFORMATION

概要パンフレット「名古屋大学プロフィール2008」を刊行	27
------------------------------	----

●イベントカレンダー

●ちょっと名大史	28
----------	----

第八高等学校創立百年を記念して一八高会一	32
----------------------	----

「夢の新物質ナノカーボンの発見者大いに語る！」を開催





名古屋大学レクチャー2008が、7月12日(土)、豊田講堂において開催されました。高校生や一般市民の姿が多くみられ、参加者数は約1,200名に達し、熱気溢れる講演会となりました。

本レクチャーは、様々な学問分野の世界的なリーダーを招へいして行う、本学主催の最も重要な講演会のひとつです。文系・理系を問わず、世界最高水準の高名な研究者の講演を、広く一般市民の皆様へ公開して、現代世界の最高の「知」に触れていただくために行われるもので、講演者には、名古屋大学レクチャーとして表彰楯が授与されます。

今回の講演者は、サッカーボール型のナノカーボン物質「フラーレン」の発見者で1996年ノーベル化学賞受賞者のサー・ハロルド・クロトー教授と、チューブ型のナノカーボン物質「カーボンナノチューブ」の発見者で2002年ベンジャミンフランクリンメダル物理学賞受賞者の飯島澄男特別招へい教授で、この2名の世界的に著名な研究者から、夢の炭素新物質「ナノカーボン」の発見と利用について講演がありました。

ナノカーボン物質は100万分の1ミリの大きさで、21世紀のナノサイエンスとナノテクノロジーを支える基幹物質として期待されています。例えば、実用化される日が近いと言われている、カーボンナノチューブで組み立てられた電子回路は、現在のシリコン半導体回路の1,000倍以上の高性能になると考えられています。ほかにも、人工衛星、医療など幅広い分野において、実用化へ向けての研究開発が急速に進展しており、ナノカーボン物質は21世紀の科学技術に大きな革新をもたらすものと期待が高まっています。

レクチャーでは、近藤高等研究院長、平野総長のあいさつの後、まず、篠原久典高等研究院教授が、「ナノカーボンって何?」と題し、ビデオ映像を交えてナノカーボンについてわかりやすく紹介しました。続いて、飯島教授が、「ナノカーボンを視る!」と題し、ナノカーボンの発見と利用を踏まえた上で、「観察から科学は始まる」と強調し、「果敢に挑戦してほしい」と若い世代に期待を寄せました。

それに続く名古屋大学レクチャー表彰楯の授与式では、総長から、飯島

教授とクロトー教授に麒麟をモチーフにデザインした同表彰楯の贈呈が行われました。

引き続き、クロトー教授が、「ナノサイズで物質をつくる」と題し、同氏の少年時代のエピソードやナノカーボンに関する最新の研究成果を紹介した上で、科学研究における“Doubt「疑う」”および“Question「質問する」”の重要性をわかりやすく講演しました。

それぞれの講演後には、活発な質疑応答が行われ、講演会は大盛況のうちに終了しました。また、講演会終了時に回収したアンケートでは、参加者から「理解しやすかった」、「お話はエキサイティングで、感動した」、「学者の良心が聞けてよかった」、「参加してよかった」、「家族にも聞かせたかった」等の感想が寄せられました。

	2	3	4
1			

- 1 会場の様子
- 2 名古屋大学レクチャー表彰楯授与式の様子
- 3 クロトー教授への表彰楯授与
- 4 飯島教授への表彰楯授与